新潟大学国際センター紀要　第２号　144 - 151，2006年　Journal of the International exchange Support Center
2006, Vol. 2: 144 - 151, Niigata University

ロシア人大学生の日本語学習の動機づけについて

Motivation of Russian University Students towards Learning Japanese

アンナ・バルスコワ*
(insnow518@hotmail.com)

The present study investigated the motivational factors of Russian students who are learning Japanese as second language at Khabarovsk Teacher Training University in Russia. 100 students answered the motivation questionnaire that consists of 40 reasons for learning Japanese. Six motivational factors were extracted: "cultural exchange", "interest in contemporary Japan", "interest in language learning", "job orientation", "occupational interest", and "self esteem." The result suggested that to further facilitate students' Japanese language learning, it is necessary to enhance Students's motivation.

キーワード：日本語学習、動機づけ、道具的動機づけ、統合的動機づけ

1.　研究の目的

ここ二十年日ロ間の経済、政治、文化、芸術、学術、教育、産業、貿易、スポーツ等における交流の発展に伴い、日本に対するロシア人の興味が上がるとともに日本語を学習する学生の数も増えている。特にロシア極東の地域では東洋語（Asian Languages）を学ぶ学習者の間で日本語が、中国語や韓国語と比べると、とても人気があり、その目的も「日本に行きたい」、「日本の文化を知りたい」、「日本の会社で働きたい」などのように様々である。しかし、日本語を教える教師にとっては、その目的を理解する必要がある。何故かというと学生が第二言語として日本語を選択し、習得する理由は第二言語学習者の動機（motive）になるからである。教師がその動機になる理由を把握することは学習者に対する適切な指導につながると思われる。

ロシアでは伝統的に第二言語として広く学ばれてきたのは、英語、フランス語、ドイツ語すなわち、ヨーロッパ言語であった。第二言語として日本語を学習し始めたのは1990年からである。それゆえ、日本語教育についての教材が少なく、また、動機づけ（motivation）に関しての研究は今でもほとんどなされていない。

したがって、極東ロシアで日本語を学ぶ大学生の日本語学習の動機とその動機づけが日本語学習にどのような影響を及ぼすかを調べることを本研究の目的にした。

* 新潟大学国際センター　平成17年度研究生

2. 先行研究

外国語の学習者はそれぞれの言語を学ぶ動機があり、教師はその動機を考慮し、その学習目的を理解し、それにそった教育をしなければ学習効果を上げることは出来ない（Stivick, 1982)。言い換えれば、学習開始以前に学習者のニーズ調査と分析を行い、その結果に基づいて、学習者の要望に応えうる内容の教材を使い、学習者が目指している言語能力の育成に最適な教授法による教育が効果的な教育である（Stivick,1982)。

では動機づけとは何か。まず、Dornyei（2001）の定義によれば、動機づけとは人がなぜあることを行うと決心し、それをいかに熱心に追求し、またいかに長く持続するかという、人間の行動の方向（direction）と程度（magnitude）に関わるものである。ロシアの心理学者である ボジョウィチ（Bojovich, 1972）によると動機（motive）とは人はある活動、または、行為を行う理由である。学習の動機づけは方向性（direction）と安定性（stability）を持つ体系的なものである（Zimnyaya, 1999)。

さらに、ボルゾヴァ（Borzova, 1972）では学習者に第二言語学習の動機づけをさせる場合には道具的動機づけ、つまり、実用的目標から始めるべきだと主張している。一方、Stevick（1982）は 外国語学習者の 動機を「他の目的を達成するための道具（instrumental)」として学ぶ道具的動機と、外国語を学んでそれを話している目標言語話者や目標文化とより深いかかわりを持ちたいと考える「統合的（integrative)」動機に分けている。統合的動機づけはある意味で、生徒が目標文化や目標言語話者と、一体感を持ちたいと考えるか、あるいは拒絶するかを反映している。生徒が対象文化を賞賛すればするほど、たとえば、その文学を読み、その言語を学習する機会を求めることが多ければ、第二言語習得の効率が高まると言える。

一方、道具的動機づけは、生徒が試験に合格したり、あるいはある種の職業につくためなどの、言語使用と直接関連のない、何らかの思惑で言葉を学習しているかどうかを反映している。英語を外国語として学習するヨーロッパの若者の250人を対象にした調査によると、29%が職業上の可能性を高めるためにもっと多くの言語を学習したいと答え、14%が外国で暮らし、働き、勉強するためにその言語を学びたいとしている。しかし、51%は個人的な興味で動機づけられていた(Commission of the EC 1987)。この数字は統合的動機づけと道具的動機づけが数多くの種類の動機づけのうちの二つにすぎないことを改めて気づかせるものである。例えば、Gardner and Lambert（1972）も、言語操作的（manipulative）あるいは 知的（intellectual）動機づけを認めていた。

Gardner（1985）では第二言語の学習は、統合的動機づけにも道具的動機づけにも左右される。また、両方の動機づけに支えられることもあるし、その他の様々な動機づけによることもある。しかし、特定の動機づけが他と比較してどの程度重要かは、地域によって異なる。さらに、モントリオールでは、フランス語学習者は統合的に動機づけられることが多いが、フィリピンでは、英語学習者は道具的動機づけが強いとされている（Gardner, 1985)。統合的動機づけと道具的動機づけの区別は、一つの基準点として多くの研究者が用いて来た。

Clement and Kruidenier（1983）は、カナダの様々の異なった状況のもとで英語やフランス語を第二言語として学習している学習者を比較して、全ての集団に共通する四つの主要な要因を見つけた。その一つは実用的な目標（pragmatic goals）であり、道具的動機づけと類似している。しかし、統合的動機づけの代わりに、彼らは「旅行」と「新しい友人関係を求める」こと、という二つの要因を確認した。さらに、「知識を獲得する」という要因もあった。

しかし、学校における言語教授によく生じることであるが、学習者が道具的動機づけも統合的動機づけも持っていなければ、第二言語を学習することが困難であろう。学習者は外国の文化に特に接触することもないし、とくに興味を示すわけでもないと言えよう。また、将来の職業に必要だということもない。英国では、フランス語の学習 が 役に立つと思った学習者は100人から全体の36％にすぎなかった。イギリスのフランス語の教師は、このような無関心さを補うために両方のタイプの動機づけを高めようと努めている。たとえば、外国語の知識で得られる職業上の恩典を強調したり、フランスの学校との交流やフランスの食べ物の見本を提示したりしているAssessment of Performance Unit（1986）。

3. ロシアにおける第二言語学習の動機づけの先行研究

ロシアにおける第二言語教育の研究が時間的に二つの時期に分けられる。その一つは第二次世界大戦後の旧ソ連時代の第二言語教育である。旧ソ連時代の経済恐慌が社会、産業、芸術などの領域だけではなく、教育にも及んでいたため、その後数十年の言語教育はあまり発展していなかった。教師は、いつもK. Marks、F. Engels及びV. Lenin などの共産主義の理論家を手本として学生に動機づけさせようとしていた。しかし、残念ながら、こういった学習者への動機付けは、第二言語習得の促進につながらなかった。

二つ目の時期はロシア時代の第二言語教育学である。動機づけが外国語学習を左右する重要な要因の一つとして明らかにされるようになってから、ロシアでも、第二言語の学習過程における学習者の動機付けの研究もたくさん行われた（Zalevskaya 1996; Zimnyaya 1999; Leontyev 1991; Loginova 2003; Milyrud 2004)。

しかし、彼らの研究のほとんどが、英語、ドイツ語あるいはヨーロッパ言語を第二言語としたもので、日本語を扱った研究はほとんどない。また、ロシアの日本語教育の領域においても、学習者の動機づけについての研究は皆無と言っていい。

したがって、ロシアの学習者の動機付けを把握し、かれらのニーズを反映したシラバスデザインや教材開発が必要である。

4. 調査

4. 1　調査対象

ハバロフスク国立教育大学東洋語学部日本語学科で日本語を第二言語として学習する１年生（40人）、２年生（34人）、３年生（26人）を対象に、調査を行った。

4. 2　アンケート

動機づけのアンケートはGardner and Lambert（1972)、郭・大北（2001）を参考にし、アンケートの質問をロシアの状況に合わせ40項目にした。

調査は2005年12月第一学期の最後の週、授業中に行われた。

4. 3　データの分析

調査して得たデータはPC-SAS (Statistical Analysis System) を利用し、「因子分析」を行った。

4. 4　結果

表1．因子分析

プロマックス回転後の因子負荷量

項目	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6
m35	0.900	-0.001	0.071	-0.306	0.116	-0.157
m7	0.868	0.007	0.016	-0.007	-0.088	-0.015
m19	0.783	0.021	0.257	-0.094	0.021	0.128
m14	0.731	-0.219	-0.039	0.119	0.008	0.219
m23	0.716	-0.030	-0.032	0.265	0.034	0.403
m20	0.658	0.033	0.169	0.278	0.271	-0.059
m28	-0.167	0.885	0.055	-0.113	0.236	-0.044
m6	-0.021	0.841	0.123	-0.160	-0.099	0.161
m27	-0.039	0.824	-0.002	0.219	0.184	-0.122
m4	0.212	0.759	0.039	0.224	-0.137	-0.151
m9	0.121	0.673	-0.060	-0.262	0.338	-0.376
m38	-0.539	0.590	0.054	0.342	0.240	0.015
m32	-0.349	0.499	-0.102	-0.242	-0.336	0.311
m30	0.232	0.011	0.749	0.101	-0.442	0.003
m8	0.141	0.045	0.747	0.152	-0.002	-0.019
m13	0.200	-0.069	0.740	-0.158	0.412	0.008
m25	-0.104	0.133	0.725	0.228	-0.221	0.272
m40	0.098	0.281	0.714	-0.491	0.036	0.189
m10	0.305	0.048	0.538	0.443	-0.221	0.100
m29	0.398	0.405	0.437	0.223	-0.007	-0.068
m31	-0.063	-0.014	-0.070	0.963	0.017	-0.088
m24	-0.186	-0.032	0.488	0.793	0.066	0.020
m22	0.078	-0.408	0.282	0.650	0.309	-0.037
m5	0.492	0.320	0.056	0.639	-0.095	-0.188
m11	0.143	0.030	-0.270	0.611	-0.377	0.320
m26	-0.133	0.276	0.152	0.606	0.324	0.331
m12	0.045	0.416	0.024	0.514	0.351	-0.163
m18	0.139	-0.110	-0.222	0.173	0.778	0.020
m17	-0.050	0.268	0.207	0.051	0.733	0.154
m34	-0.013	0.348	-0.298	-0.051	0.721	0.128
m1	0.002	0.253	0.018	-0.045	0.720	0.224
m2	0.077	-0.035	-0.575	-0.062	0.686	0.378
m39	-0.130	-0.312	0.110	0.193	0.247	0.852
m33	0.130	0.103	-0.070	0.125	0.186	0.793
m15	-0.111	-0.148	0.499	-0.172	-0.041	0.698
m16	0.162	0.256	0.017	-0.037	0.355	0.638

まず、相関関係が低かった次の４項目を分析から除外した。

項目３　「日本語の先生が好きだ」（-0.022）

項目21　「自分の勉強になる」（0.287）

項目36　「友達に尊敬されたい」（-0.562）

項目37　「両親に言われたから」（0.030）

残った36項目の分析を行って、抽出した因子を最大限分離するため、プロマックス回転を

行った。抽出した因子は表１に表している。

5. 考察

因子１は35、７、19、14、23、20、の６の項目からなる。「日本を訪問したい」、「日本の歴史と習慣を知りたい」、「旅行の時に便利」、「日本人の振る舞いと思考様式を知りたい」、「日本人との交流をしたい」、「日本人の友達を作りたい」とかなどの日本の 人々、歴史、伝統、習慣、生活様式に対する興味を表しているため、これを「文化交流因子」とする。

因子２は、28、６、27、４、９、38、32の７の項目からなるものである。「この地域では日本語が一番使われている外国語であるから」、「大学を卒業するため必要であるから」、「日本語ができれば昇進の可能性が高いから」、「日本語ができれば就職の可能性が高いから」、「教養のある人になれる」などの就職、自分自身の教養に関わっている解答が多いことから、これを「仕事因子」と名前をづけた。

因子３は、30、８、13、25、40、10、29の７の項目からなる。「日本のビデオゲームが好き」、「日本の漫画が好き」、「日本の映画、ドラマを見たい」、「日本のファッションに興味がある」など、いずれも、現在の日本の文化、芸術に興味を表わす項目が含まれているため、これを「現在日本興味因子」とした。

因子４は 31、24、 22、 ５、 11、26、12の７項目からなる。「三ヶ国語ができるので自己尊重」、「三ヶ国語ができれば人に尊敬されたい」、「日本人と結婚したい」、「和食が好き」、「日本の流行ってる歌が好き」、」などの項目があり、自己満足感に関わっている項目が圧倒的に多いためこの因子を「自己満足因子」にした。

因子５は18、17、34、１、２、の５の項目からなる。「日本で就職したい」、「日本語が使える仕事がしたい」、「ロシアにある日本の会社で働きたい」、「日本語が好き」、「日本語学習が好き」という日本語学習と日本語が使われている仕事と関係があるため、この因子を日本語に関する「仕事因子」にした。

因子６は39、33、15、16、の４の項目からなる。「日本語学習が進歩したい」、「新しい言語を勉強したい」、「日本で進学したい」とかなどの項目からなっている。この因子を「日本語学習志向因子」にした。

まず、ロシア人の大学生の日本語学習の動機を構成している36項目の分析の結果、「文化交流因子」、「仕事因子」、「現在日本興味因子」、「自己満足因子」、「職業学習因子」、「日本語学習志向因子」の６つの因子が抽出された。Stevick（1976）の 理論から言えば、「文化交流因子」、「現在日本興味因子」、「日本語学習志向因子」は日本の文化、芸術、生活様式に対する興味を示すもので統合的動機づけになるであろう。「仕事因子」、「職業学習因子」、「自己満足因子」は、また Stevick（1976）の理論から言えば、「他の目的を達成するため」の道具的動機に分類できよう。さらに、Clement and Kruidenier（1983）の理論によれば、「仕事因子」と「職業学習因子」は実用的動機づけにも分類できるであろう。したがってロシア人大学生の日本語学習の動機づけを次のように分類できよう。

1. 統合的動機づけー「文化交流因子」、「現在日本興味因子」、「日本語学習志向因子」
2. 道具的動機づけー「仕事因子」、「職業学習因子」、「満足因子」
3. 実用的動機づけー「仕事因子」、「職業学習因子」

では、なぜ「文化交流因子」、「現在日本興味因子」、「日本語学習志向因子」といった統合的動機づけが抽出されたか。これは日本と極東ロシアは近いので伝統的に二国間交流をしてきたことと、近頃ロシア人、特に若者が日本の文化と接したいという要望が物語っている。

現在ロシアと日本との政治的、経済的交流が著しく進んでいる。特に極東ロシアでは日本の文化がロシア人の日常生活に少しずつ浸透している。ハバロフスクでは毎年日本文化祭、日本映画祭、日本語のスピーチコンテストが行われ、和食のレストランが次から次へと開店され、日本の映画と小説がたくさん売られている。日本の映画・文学に興味を持つ若者や日本語を学ぶロシア人学生の数も増えている。

道具的動機づけはロシアにおける日本語の経済的価値を反映している。極東ロシアの二つの大きな都市であるハバロフスクとウラジオストクは日本に近く、飛行機で僅か二時間ぐらいの距離である。この地理的な近さのおかげで日本とロシアの貿易が非常に発展している。両国間のビジネスや貿易事業の発展のため、日本語ができる人材が求められている。今、極東ロシアでは日本語の通訳が給料の高い職種の１つとなっている。また、日本語ができれば他の人と比べれば就職しやすい傾向もある。日本語を教える資格がある人も必要になり、ハバロフスク教育大学東洋語学部日本語学科では、最近「日本語と英語の教師」と「日本語と英語の通訳」という専門家を養成するプログラムを立ち上げている。

このように、教授者は効果的な教育を行うには、まず学習者のニーズや動機付けを把握する必要がある。ロシアの大学で効果的な日本語教育を行うためには、今後引き続き他の大学の学習者の動機付けを調査する必要がある。

参考文献

Bojovoch, L. I. (1972) Problems of the motivation in the classroom. Moscow: Pedagogic.

Borzova, T.V. (1972) Second language learning strategies. Moscow: Pedagogic.

Clement, R. and Kruidenier, B. G. (1983) Orientations in second language acquisition. Language Learning 33: 273-91.

Dornyei, Z. (2001) Motivation strategies in the language classroom. Cambridge University Press.

Gardner, R.C. (1985) Social psychology and second language learning. the role of attitudes and motivation. Edward Arnold Publishers.

Gardner, R.C. and Lambert, W. E. (1972) Attitudes and Motivation in second language learning. Rowley, Mass.: Newbury House.

Leontyev, V.G. (1991) Learning motivation in the classroom. Novosibirsk.

Loginova, L.I. (2003) How to Help a Student to Speak English. Moscow: Gumanit.

Milyrud, A.P. (2004) Modern Principles in Second Language Acquisition. Foreign Language

in School. 4, pp 9-51.
Stevick, E.W. (1980) A way and ways. Teaching Languages. Newbury House.
Stevick, E.W. (1982) Teaching and Learning Languages. Cambridge University Press.
Zalevskaya, A.A. (1996) Psychological Aspect of the Second Language Acquisition. Tvery.
Zimnyaya, I. A. (1999) Psychology The Second Language Teaching. Moscow: Prosvesheniye.
郭俊海・大北葉子（2001）「シンガポール華人大学生の日本語学習の動機づけについて」『日本語教育』110号、130-139、日本語教育学会

資料：アンケート

1.year　　2.age

Do you agree with the following statements? Please circle the number, which reflects your options best.

Absolutely disagree	Quite disagre	Slightly disagree	Neutral	Slightly agree	Quite agree	Absolutely agree
1	2	3	4	5	6	7

1.I like Japanese language.	1234567
2.I enjoy the learning of Japanese language.	1234567
3.I like my Japanese language teachers.	1234567
4.It can provide me more jobs opportunities.	1234567
5.I can gain the respect of other people if I know a third language.	1234567
6.I will need it as a requisite for graduation.	1234567
7.I want to know about Japanese traditions and history.	1234567
8.I want to read Japanese comics.	1234567
9.I am interested in Japanese literature.	1234567
10.I am interested in Japanese fashion.	1234567
11.I want to sing and listen to Japanese pop songs.	1234567
12.I want to read Japanese magazines, newspapers and novels.	1234567
13.I want to watch Japanese movies, TV dramas and videos.	1234567
14.I want to have a further understanding of Japanese people, their culture and their way of life.	1234567
15.I just want to learn a new language.	1234567
16.I want to pursue further study in Japan in the future.	1234567
17.I want to get a job where I can use my Japanese.	1234567
18.I am interested in working in Japan after graduation.	1234567
19.It will be convenient if I know the language when I travel in Japan.	1234567

20.It will enable me to make Japanese friends more easily.	1234567
21.It will help me gain new ideas and broaden my outlook.	1234567
22.I like Japanese food.	1234567
23.It will enable me to communicate with Japanese people.	1234567
24.I want to marry a Japanese boy or a Japanese girl.	1234567
25.My friends influenced me.	1234567
26.It will enable me to be a more knowledgeable person.	1234567
27.It will help me to get a promotion more easily in my future career.	1234567
28.It is one of the most widely used languages in the region.	1234567
29.I want to know the way that Japanese think and behave.	1234567
30.I like playing Japanese video games.	1234567
31.I am proud of myself, because I can learn a third language that others do not.	1234567
32.It happens to be one of the subjects offered by the department and I do not have much choice.	1234567
33.I want to improve my Japanese language.	1234567
34.I want to get a job in local Japanese company.	1234567
35.I want to visit Japan.	1234567
36.I want to be praised by my friends because it's not easy to master Japanese.	1234567
37.My parents urged me to study Japanese.	1234567
38.It will enable me to get self-esteem boost.	1234567
39.I want to listen to Japanese radio broadcast.	1234567
40. Others	1234567